

ブドウのグローバルGAP認証取得と海外輸出販売

1 はじめに

丹原高校が位置する愛媛県西条市丹原町は、南に四国山地を望む道前平野の中心部に位置し、柿、キウイなどの果樹から米や麦など多様な農産物を産出する県内有数の農業地帯です。〔図1〕

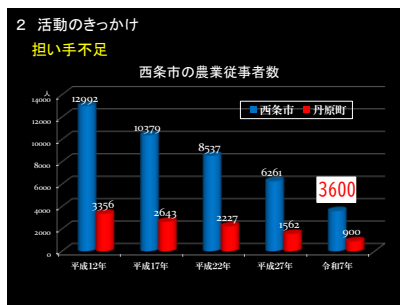
本校では、全専門科目でGAPに関する項目を取り入れ、3年次には科目「課題研究」として、GAP班を編成し、認証審査に向けた書類作成から台湾への輸出・販売までを、一貫して取り組んでいます。



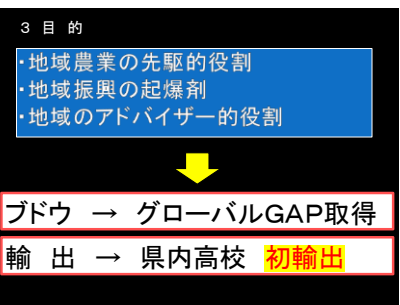
〔図1〕西条市の農産物

2 活動のきっかけ

西条市においても担い手不足は著しく、農業従事者は平成12年に約13,000人いたものの、平成27年には約6,200人、10年後の令和7年には3,600人になると予想され、農業の衰退がますます進むと懸念されています。



〔図2〕西条市の農業従事者



〔図3〕活動の目的

3 活動の目的

そこで、丹原高校では、地域農業の先駆的役割、地域振興の起爆剤、地域のアドバイザー的役割を果たす存在となることを目指しました。平成30年8月にブドウでは全国の高等学校初となるグローバルGAP認証を取得し、県内高校初の農産物輸出を実現するなど、先進的なGAP実践校となりました。

4 研究計画

- (1) グローバルGAP認証取得
- (2) 地域への普及活動
- (3) 台湾への輸出・販売
- (4) 生産技術と品質の向上と4つの計画を立てました。

5 研究の実施と成果

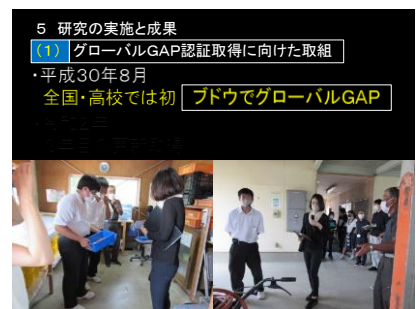
- (1) グローバルGAP認証取得に向けた取組

GAP認証を取得するために、農場のリスク評価・農場環境の整備・各種記録簿の作成・栽培管理の適正化など、審査時の説明に必要な証拠書類を作成しました。また、ブドウを生産する圃場や周辺の施設設備の点検、収穫調整を行う施設や農薬・肥料保管庫等の整備に当たりました。〔図4〕

上記の取組を通し、平成30年8月にブドウでは全国の高校で初めてグローバルGAP認証を取得し、今年度も5年目の継続認証を受けるよう予定しています。

- (2) 地域への普及活動

グローバルGAP認証に係る審査は全て公開とし、〔図5〕地域の農業者・JA・行政・教育機関に対して、本校の取組を発信する機会を設けました。また、地域農業者との交流会を実施し、令和元年度は地域から台湾へのブドウ輸出に繋がりました。〔図5〕審査の公開



〔図4〕審査時の様子



〔図5〕審査の公開

また、これらの取組は多くのメディアに取り上げられ、私たちの活動を広くPRすることができました。西条市役所と地元フレンチレストランと提携し、本校が栽培した果樹や野菜を食材として、地産地消・食育・地元愛に繋がるSIB事業も実施しました。〔図6〕



〔図6〕 SIB事業

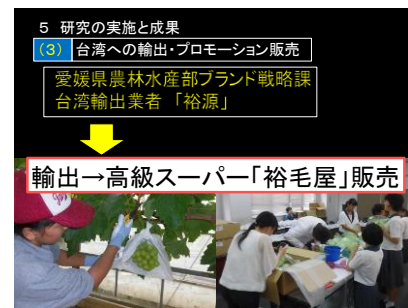


〔図7〕 コンクール入賞

これらの成果を農林水産省主催の「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」と「ディスカバー農山漁村の宝」に応募したところ、中国四国農政局長賞をいただくことができました。〔図7〕

(3) 台湾への輸出・プロモーション販売

GAP認証取得による取引拡大と本校の更なるPRのため、愛媛県農林水産部の指導のもと、台湾輸出業者を介して、台湾の高級スーパーでの販売を実現しました。台湾における残留農薬基準の理解、輸出業者による出荷梱包作業の指導を経て、平成30年8月に



〔図8〕 輸出



〔図9〕 プロモーション販売

県内高校で初めてブドウの輸出が実現しました。〔図8〕

園芸科学科の生徒4名が台湾のスーパーでプロモーション販売をしました。〔図9〕また令和元年にも輸出し、本校生徒20名が台湾に渡りプロモーション販売を実施しました。コロナ禍ではありましたが昨年度も54kgを輸出することができました。生産からGAP認証取得・海外輸出販売を体験することで、GAPの理解を高めるとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上等、人材育成に絶大な効果が得られました。

(4) ブドウ生産技術と品質の向上

台湾でのプロモーション販売の際、スーパーのバックヤードでは、本校のブドウについて外観・品質に関する指摘をいただきました。栽培管理や出荷調整時の作業を見直し、より一層の品質向上に向けて、次のような実験を行いました。〔図10〕

- ① えひめA I 散布がブドウの生育と品質に与える影響
- ② 環状剥皮がブドウの品質に与える影響
- ③ 着果数制限がブドウの生育と品質に与える影響

着果数制限の研究は実施できませんでしたが、えひめA I と環状剥皮の結果は次のとおりです。

- ① えひめA I 散布がブドウの生育と品質に与える影響については、新梢の伸長・葉の大きさ・茎の太さ・果実1粒の大きさ・果実の重さ・果実の色づきや甘さについて調査しました。その結果、えひめA I 散布に効果がみられました。
- ② 環状剥皮がブドウの品質に与える影響については、果実1粒の大きさ・果実1粒の重さや色づき、甘さについて調査しました。果実1粒の大きさについては差がみられませんが、他の項目については、環状剥皮に効果がみられました。

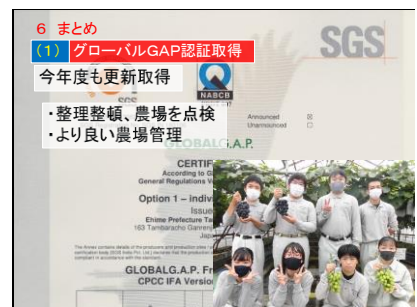
6 まとめ

(1) グローバルGAP認証取得に向けた取組

今年もGAP認証を更新取得するための準備を進めていま



〔図10〕 スーパーでの指導



〔図11〕 継続審査

す。常に農場を点検し、より良い農場管理にあたる姿勢を養うことができました。〔図 11〕

(2) 地域への普及活動

コロナ禍からGAP認証に係る審査は、参加人数を絞って少人数で実施しましたが、11月のGAP学習会、6月の事前点検、8月の本審査と系統立てて実施でき、近隣の高校生・取得を予定する農家やJA・行政に、参加をいただきました。また、これらの取組は多くのメディアに取り上げられ、私たちの活動を広くPRすることができました。〔図 12〕

(3) 台湾への輸出・プロモーション販売

コロナ禍で台湾スーパーでのプロモーション販売は実施できませんでしたが、昨年度まで、輸出を継続できましたし、今年度も予定しています。生産からGAP認証取得・輸出を体験することができ、ここ5年間活動をつなげることができました。

現在、本校のホームページに、公式YouTubeチャンネルを貼り、ブドウの栽培の様子を公開しています。輸出業者や台湾のスーパーに見ていただこうと考えています。〔図 13〕

(4) ブドウ生産技術と品質の向上に向けて

えひめAI散布と環状剥皮の効果を確認することができ、品質の向上に向けた足掛かりを得ることができました。収穫時に新聞取材があり、測った糖度では20度を記録し私達も驚きました。また、今年度は青色LEDによる果実の着色促進について実験を予定しています。〔図 14〕

(5) 今後は

グローバルGAPの導入で、私たちの中に安心安全な農産物を消費者に届けるという責任感が芽生えました。学習への意欲が高まり、問題を解決する能力が身に付いたと思います。今後も、ブドウのより良い生産とGAP継続認証に向けて学習を深めていきたいと思っています。

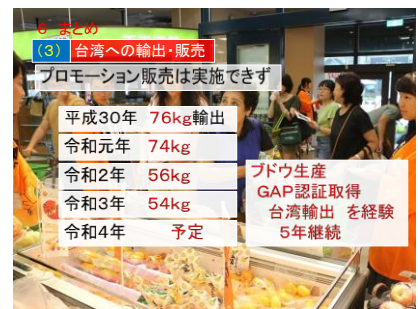
〔図 15, 16〕



〔図 15〕 安全な農産物



〔図 12〕 学習会から審査



〔図 13〕 5年目を迎える



〔図 14〕 青色LED



〔図 16〕 台湾スーパーにて